

## ■ 意見・感想シートでのまちづくりに関する意見

意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりに関して、居住者の視点、商業者の視点、来訪者の視点の複合の視点が大事だと理解しました。</li> <li>●居住者は年々高齢化してくるので、外からの来訪者にいかにアピールするかのテーマ作り、情報発信が大変重要だと思います。特にこれからの時代、外国人へのアピールは極めて重要だと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●銭湯を交流の場にできないでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●将来もこのまちに住み続けたいと思っています。安心・安全にこのまちに愛着をもって住み続けられるために自身がこのまちを良く知る必要があると日頃から感じていました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●町を大切に、生き生きと安心な場所となってほしいという思いが共通な意識と考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅街は静かな住みやすい町と思います。</li> <li>●緑を残すには？安全な町作りの道路は？一方通行がわかりにくいです。</li> <li>●商店は個人の個性のあるまま継続出来たら次の世代に嬉しく思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●今の段階では便利さと親しみやすさについて満足しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●見どころの紹介の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば西荻地区には、歴史のある4つの神社がありますが、地域の限られた住民にしか知られていないように思います。お祭りを中心の情報でもいいですが、もう少し情報を流す工夫がなされてもいいのではないのでしょうか（WEB情報の充実＜部分的にはあるはずですが＞、駅構内での情宣物の提供など）。</li> <li>・商店会が中心に設置されたと思われる六地藏・六童子巡りについても同様のことがいえましよう。六童子は有名作家の作品で、区も関わられているのではないのでしょうか。せっかくの貴重な財産があまり知られないままというのも、寂しいですし、もったいない感じがします。</li> </ul> </li> <li>●防災関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の夏場、駅南側の仲道通でボヤがでたようで、道は通行止め、消防車が停まり消防士が動き回っていました。大きな火が出た際の防災対策の重要性に思いが行きました。十分な台数の消防車や多数の消防士が入れないとなれば、類焼を免れません。</li> <li>・耐火建材の活用、防火壁の整備・設置、消火栓の増設など、火災・震災への備えがどれだけできているか（仲道通を含めた商店密集地）、その把握と対策が重要と思いました。また当該地域の住民の火災・震災時の対策・避難方法の指導周知も合わせて必要と考えます（ある程度はできているかも知れませんが、部外者としても関心を強めました）。</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車優先の道路事情 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、西荻窪が閑静な住宅地であり続けることを強く望むものであり、したがって、荻窪や吉祥寺との間でいわゆる開発競争にのめりこむようなことは厳に慎むべきと考えています。しかし、西荻窪が閑静な住宅地の割にはいくつかの問題を抱えていると思います。一つは、道路が狭くしかも歩道と車道が分離していない箇所が多く、とても歩きづらいことです。そうした状況の下、自動車が物凄いスピードで商店街を疾走し、安心して買い物もしてられない状況があると認識しています。とりわけ私の自宅付近の神明通りや山中病院の前の通りなどは制限速度が時速20kmであるにもかかわらず、50～60kmで疾走する自</li> </ul> </li> </ul>

動車がかなりの割合で存在します。西荻窪駅周辺の道路は、結果的に自動車が最優先の道路事情になっているように思えてなりません。

- ・こうした道路事情を抜本的に変えるためには警察の取り締まり強化などが必要になってきますが、それだけでは十分とは思えません。逆に、まちづくりの中で対応できる部分も多々あるように思います。例えば、道路を整備する際に、歩道を車道よりも一段高くすることや、バンプ（ハンプ）やクランクを積極的に導入していくことは、極めて有効な手段と考えます。

#### ● 極端な緑の少なさ

- ・駅周辺の緑の少なさも非常に気になります。私は6年前に目黒区の池尻大橋（国道246号線の南側）から引っ越してきましたが、池尻大橋（とりわけ東山周辺）は公有地が多く緑の多さが際立っていました。付近には世田谷公園、そして目黒川沿いの遊歩道の緑も印象的で文化の香りさえ漂っていました。しかし、西荻窪は閑静な割には、とりわけ駅周辺には緑がほとんどありません。なぜそのような印象になるのかと考えてみたのですが、それは街路樹がほとんどないことが大きな理由の一つだと確信しました。街路樹がないことで街に潤いをもたらされない、落ち着きをもたらされない。安心がもたらされない。また、善福寺川は西荻窪付近では異臭を放ちとてもではありませんが文化の香りが漂うどころではありません。川沿いに緑に覆われた遊歩道が整備されていないことは致命的とさえ思います。鮮やかな緑が目飛び込んでくるだけで精神が安定し、文化の香りさえ漂わせることができるようになると思います。

#### ● 広場や憩いの場がない

- ・西荻窪周辺には大きな広場がありません。駅周辺で小休止できるような場所があれば、安心にも繋がりますし、防災の観点からは安全にも繋がると思います。広場は何よりも人と人との交流の場としての機能も持ち合わせています。西荻窪駅周辺では、歩道と車道とが分離している箇所もありますが、そうした場所は概して歩道が狭く向かってくる人を避ける必要からそれだけでかなりのストレスが溜まります。大きな広場、そして広い歩道、すなわち自動車に優しいのではなく歩行者に優しい街になって欲しいと思います。西荻窪周辺には、確かに緑豊かな善福寺公園や井の頭公園があるのですが、やはり余りにも遠く西荻窪駅周辺と一体化していません。西荻窪駅周辺と一体化した広場が存在することで、西荻窪の空間的価値は格段に高まっていくのではないのでしょうか。

#### ● 碁盤の目のような街のメリット・デメリット

- ・西荻窪の街並みは碁盤の目のようで、かつ高低差がほとんどなく非常にわかり易いし、どんな状況でも迷わないといった防災上のメリットがあります。しかし、これはデメリットでもあると思います。私は、毎週末、二日間で10km程度のウォーキングを行うことを日課としていますが、歩いていて余りにも単純でつまらないと感じることが多々あります。もっと変化に富んでいても良い。以前住んでいた池尻大橋は、道路が複雑に交差しかつ地形が起伏に富み緑が沢山あったので歩いていてとても楽しかったのですが、これまでのところ西荻窪ではそのような楽しさを感じ取ることができないでいます。今更西荻窪の地形を変えるわけにはいきませんが、ウォーキングをより楽しめるものにするための工夫はできるはずです。ポイントは、街路樹などで緑を増やすこと、それに歩行者に優しい街にすること、この2点に集約されるように思います。

- 西荻らしさとはなにかとかがえたときに、この懇談会への参加希望者が募集の2倍ほどとなった件を聞いて、それが西荻の個性ではないかとおもいました
- まちづくりのテーマで活動するグループがたくさん生まれ、それぞれが活発に活動しています。
- 駅周辺にひと休みできるスペースがないことも気になります。
- 個人商店が多い、賑わっているところがよい、というありがたい声もありましたが実態はみな疲弊して、いずれはチェーン店が取って代わるでしょう。

町会・自治会／商店会へのヒアリング結果概要

区では昨年10月～11月にかけて、西荻窪駅周辺を対象とするエリア内(西荻北二丁目・三丁目、西荻南二丁目・三丁目、松庵三丁目)にある町会・自治会と商店会へヒアリングを行いました。  
ヒアリングでは、ニシオギの魅力や特徴、また、各会の中でまちについてよく話題に上がる内容や、まちの将来像、改善点などについて話を伺いました。

- ヒアリング期間 平成30年10月11日～11月6日
- 町会・自治会(計7会) ・西荻北町会 ・井荻自治会 ・西荻窪町会 ・西荻南一、二丁目南部町会 ・西荻南中央会 ・西荻南二丁目大和通町会 ・松庵町会
- 商店会(計18会) ・西荻北銀座商友会 ・西荻北銀座本町会 ・西荻一番街商店会 ・西荻伏見通り商店街振興組合 ・西荻窪北銀座銀商会 ・西荻ステーション街商店会 ・西荻平和通り会 ・西荻窪銀座会 ・西荻南口仲通り会 ・サカエ通り会 ・西荻南駅前商店会 ・西荻東銀座会 ・松庵商店会 ・西荻南中央通り銀盛會 ・西荻窪駅南通り会 ・西荻南銀座会 ・西荻窪南本町会 ・五日市通り商店会

町会・自治会、商店会で共通している考え

- 【まちの特徴や魅力】 住みやすい、ちょうどいいまち、など良好な住宅地に関わる意見が多く挙げられました。
- 【まちの変化】 専門店(生鮮食品店など)がなくなり、商店街が変化していること、また、テナントが増えたことによりまちが変化していることが共通して挙げられました。
- 【困っていること、課題など】 まちの安全性(防火・防犯・防災・交通)に関すること、交通に関しては伏見通りの通行状況について特に問題意識が高かったです。また、集まれる場所がないことが共通して挙げられました。
- 【まちの将来像や今後の取り組み】 「つながり」に関わる意見が多く出ました。つながりを大事にすることにより防犯を高めることやまちが一体となった活動、取り組みが必要という意見が共通して挙げられました。

ヒアリングを通してわかった、ニシオギの特色

- 【4つの氏神】 西荻窪駅を中心とするエリアには、井草八幡宮、荻窪八幡神社、大宮前春日神社、西高井戸松庵稲荷神社の4つの氏神が存在し、お祭りの際に活躍するお神輿は商店会が所有していました。このような背景も商店会の統合が難しい要因のひとつの意見もありました。
- 【高級住宅地】 もともと、西荻窪は将校や高級官僚が多く暮らしていた。現在も大きなお屋敷が残っており、ほとんどの銀行が駅前に立地していたり、呉服屋さんやアンティーク・古道具屋さんが多く存在しているのもその名残だとのことでした。



■ 町会・自治会の主な意見等

- 【加入率】 町会・自治会によって、区域内世帯の半数を切っているところや、ほぼ全ての世帯が加入しているところなど、加入率には大きく差がありました。
- 【活動】 防災訓練や防犯パトロール、お祭り、バザー、お祝いの贈呈などの活動や回覧板などによる広報活動など、町会・自治会の加入者や参加者の状況によって、活動の内容は様々でした。

まちの特徴・魅力	住みやすいまち 街並みがきれい しっとりとしたまち 閑静な住宅地 屋敷が多い 高井戸第四小学校より北は坂道(風情がある) こけし屋や東京女子大学がある(西荻の名所的な存在) 顔のみえる近所付き合いができて(両隣もしもの時に助け合いのできるコミュニティ)	
まちの変化	豆腐屋、魚屋、八百屋、花屋、肉屋、銭湯がなくなった チェーン店が増えた 商店街のテナント化により町会へ加入しない店舗が増えた 高齢化が進んでいる 世代交代が進んでいるが、若者は減少 土地が分割分譲され、子育て世帯が増加している 西荻窪平和児童遊園が改善された アパートで外国人の居住者が増えている	
困っている事、まちの心配事	食料品や日用品等の店が近くになく、買い物が不便 伏見通りの歩行者通行が危険(学生の通行マナー、自転車の通行、道路の幅員、バスの運行により) まちの安全性(防火・防犯・防災) 木造建築物が密集した地域がある 自転車の盗難、放置が多い 住宅地の街路灯が暗い 身近に、気軽に集まれる場所がない 町会内に公園がないため、防災倉庫を設置する場所がない	
まちの将来像	安全・安心に暮らせるまち 防災(木造建築物が密集した地域の解消) 日頃から世代間、地域内で交流があり、不審者がまちへ入ればすぐ分かるまち 高齢になってもまちへ出やすいまち たてよこの繋がりのあるまち 地域コミュニティのある、いさかいのないまち 吉祥寺とは違う、落ち着いたまち 閑静なまち 昔から残る定住のまち(西荻らしさ) 定住したいまち 活気・愛着のあるまち 明るい地域づくり	
改善点のまち	災害時に利用できる一定規模の公園の確保 集まれる場所の確保 伏見通りの通行、交通の安全確保 駐輪場があり、生鮮食品の買える店等利便性向上	駅南側商店街の活性化 地域コミュニティ(世代間交流)の活性化 挨拶の励行 防災行政無線によるアナウンスが聞こえない
その他	駅の南北では歴史的背景が異なるため、現在の南北のまちにも違いがある 活性化は「安心して住む」、「皆で楽しむ」がキーワード	

■ 商店会の主な意見等

【加入率】 商店会の多くは、8割程度から、ほぼ全ての店舗が加入しているという状況でしたが、「加入しているメリットがないのでやめたいという店舗が増えている」という商店会もありました。  
 【活動】 他の商店会や町会・自治会などと連携してイベントを開催しているところや、独自でイベントを開催しているところなど、商店会の立地や加入者の状況により、活動の状況も様々でした。

商店街の特徴、魅力	歴史(昭和レトロな雰囲気)を感じる商店街	アンティークなまち
	ちょうどいいまち	品のある商店街
	ローカルな雰囲気	
	横丁(戦後の飲み屋)の雰囲気があり、車が入って来ないので、通行を気にせず、安心して飲める商店街	
	他の商店街にはない、個性的な店舗(個人の専門店)が多く立地している	
	固定率の高い実力のある個人店の存在	若い店主の店が多い
商店街の変化	店舗進出需要が高く、空き店舗がない	
	地元客が中心だが、途中下車して訪れる客も存在	土日は人通りも多く、来街者が多い
	独立した店舗が実施するイベントには、商店街の若い店主も参加	
	各商店会がお神輿を持っている	喫煙所がないところが良い
	店主の高齢化、後継者不足により商店街のテナント化が進んでいる	
	商店街内の店舗のテナント化により商店会が空洞化してきている(商店会への加入や活動参加率の低減に影響)	
商店会での課題になる事、困っている事、課題など	固定資産税が高いため、テナント貸又は売却して他に居住するオーナーが増えている	
	高齢者から困った事があると問い合わせがあり、本来の業務とは異なる、高齢者のサポートが増えた	
	高齢化により、ひとり暮らしの高齢者が増えており、顔を見かけない時は様子を見に行くようにしている	
	商店街が食料品や日用品などの買い物の通りではなくなった	
	物品販売店の減少、飲食店の増加	
	人通りが少なくなった	
その他	外国人が増えた	
	祭礼、イベント時の協力体制など、イベントに関する話題が多い	
	立地条件やそれぞれの考えが違うため周辺商店会との連携が難しい	
	商店会ごとに資産状況が異なるため、商店会の統合が難しい	
	商店会内での繋がりが乏しく、情報伝達の場がない	
	新旧会員間で連携する必要性がある	
	業種が違い、定休日異なるため、会合はほとんどない	
	若い経営者で商店会活動を手伝う人がいない	
	会費が西荻窪商店会連合会や杉並区商店会連合会のイベント等に出て行き、会の活動に使づらい	
	チェーン店は入れ替わりが早い(個人店は頑張って経営している)	
	新規に営業する店は賃料が高く経営が難しい	
	賃貸できる物件が少ない(1階部分を通らないと2階に上がれない建物が多く、1階部分だけを貸店舗にできない)	
建替えをしても1階は店舗にして欲しいが、マンションは1階に店舗を入れると銀行が建設費を融資してくれない		
店舗オーナーの高齢化により新たな設備投資や建替えが困難		
商店街を魅力的にしたいが、土地・建物を借りて経営している商店街であり、所有者の許可が必要なため難しい。		
商店街中央の空き店舗をなくしたいが、募集は商店街の土地・建物所有者が行うため、何もできない。		
まちの安全性(防火・防犯・防災・交通)		
地域コミュニティとのつながり		
建物が古く、火事の危険性があるが、道路が狭く消防車が入れない		
商店街の通りをバスが通行するため、駐停車ができない(駐車場の確保)		
伏見通りの通行(交通量が多い、荷捌き車両が交通の流れをせき止める)		
交通量が多く、商店街としては不利		
駅前における空間確保が必要(駅前広場の整備)	休むスペースがない	
集まれる場所がない	商店会事務所の確保	

商店街の将来像	駅前(近隣)に自転車の置き場所がない	
	公衆電話の設置(駅前のコンビニに設置をお願いしたが、建設後だったため、設置できなかった)	
	街路灯の設置	
	区施設、子供向けの施設がない	
	現在の商店街らしさ(個人店舗の集積)を残す再開発計画	
	都市計画道路の拡幅に伴い、商店街が無くなるのが懸念されるが、一方で、早く実施してほしい感はある	
	ブランド価値のある商店街として、西荻ブランドを高めたい	魅力ある商店街
	吉祥寺でも荻窪でもないまち(西荻窪独自のまちづくり)	目的を持って訪れる街
	他の商店街にない専門店、魅力ある専門店が集積した商店街	
	ベテラン店主の技量が後世に受け継がれる商店街	
	西荻窪の特殊性(目の肥えたこだわりのあるお客さん)に合わせた商店街	
	まちに魅力があり、若い店主が流入する進取の気性ある商店街	
	歩いて楽しい商店街	人優先のまち
	現在の雰囲気を残す商店街	昔ながらの、人同士が声をかけ合うような商店街
	安心して住みやすい街西荻(ほっこりした街)	子どもの見守りができる商店街
	お年寄りと子供に優しい街(腰掛ける場所を作るなど)	
賑わいの核の形成		
通りがにぎわう商店街	通りの景観づくりによる賑わい創出	
再開発の価値を地域に広げる(地域の利用価値を高める)		
西荻の商店会が1つになって活動(イベント等の運営面での合併)	商店会の統廃合	
業種によってはイベントに参加するのが困難な店主もいるので、色んな人が参加できるイベントを考えていく		
今後の取り組み	安全性(防火・防犯・治安)の確保	
	西荻の価値を維持していく	
	商店街らしい雰囲気づくり	
	ヒューマンスケールのまちづくり	
	安心して歩ける環境づくり(歩きやすい道路づくり)	
	道が広すぎても商店街としては良くない(道路を渡らないと道路の両隣にある店舗へ行けないので)	
	(安心して歩けるために)自転車が通行できる道路の確保	
	駐輪場の整備(駐輪場が少ない)	
	マナーの向上(犬の散歩、まちの美化について)	柳小路(飲み屋街)の美化
	駅前広場の確保	駅近くに一休みできるスペースの設置
	商店会会員間(土地持ち、テナント等)でのつながりづくり	
	商店会の統廃合	
	商店会と地元のつながりづくり(商店会、町会・自治会、その他団体が一体となった取り組み、活動)	
	地域の結束づくり(顔の見えるまち)をすることで防犯へ活かす	
	高齢居住者と結びつく地域形成	
	イベントを通して商店会を知って欲しい、面的に広がるまちづくりを考えたい	
(商店会で)産休中のお母さんたちに活動の場を提供して、イベント等を手伝ってもらう(商店会を知ってもらうきっかけ作り)		
(商店会のイベントへ)若い人の巻き込み		
東京女子大学や善福寺公園などを西荻のまちに活かす		
テナント貸による新しいアイデアの流入		
店舗やグループでの情報発信、商店会の掲示板設置		
地域住民や来街者への情報発信(女性や女性経営店による情報発信力の活用)		
買ったものを自宅まで配送してくれるサービス	小規模なデリバリー店舗の立地	
再開発による賑わい創出		
その他	災害時に物資や人を運べるように、商店会・町会共同でリアカーを所有した	
	イベントの企画を通じて店舗間のコミュニケーションが増え、情報交換等活性化に結び付いた	
	相続税が高いため、土地・建物を売ってしまう人が多い	